

泌尿器講座

膀胱がん ①

いい腎泌尿器科クリニック院長
石井 達矢

●(いい)いたつや)1999年(平成11年)
山形大学医学部卒業。同大附属病院、市
立病院済生館、公立置賜総合病院勤務
などを経て2020年5月いい腎泌尿器
科クリニックを開業。医学博士、日本泌尿
器科学会認定専門医、日本医師会認定
産業医。



今回から3回にわたって「膀胱がん」について解説していきます。

男性患者、女性の3倍

膀胱がんは文字通り膀胱にできるがんで、2023年の新規罹患数は2万3970人と年々増加傾向にあります。男女別では男性1万7901人、女性

6069人で、男性の方が約3倍多くなっています。

喫煙が最大の危険因子

膀胱がんの最大の危険因子は喫煙で、原因の約半数を占めます。喫煙者の罹患リスクは非喫煙者の約3・5倍、現在はやめていて過去に喫煙喫煙経験のある人でも約2倍

のリスクがあります。

一方で、禁煙でリスクは徐々に低下し、10年以上の禁煙で罹患リスクは2倍未満まで改善することが示されています。

尿路炎症も原因に

尿路の慢性炎症も発症に影響するとされます。ヒトパピローマウイルス感染、長期の尿道力テール留置、骨盤内放射線治療なども膀胱がんの発症につながる可能性があります。

血尿が代表的な症状

膀胱がんの代表的な症状は血尿で、痛みを伴わず突然出現することが多

い点特徴です。頻尿や排尿時の痛みなど、膀胱炎に似た症状がみられることもあります。症状がまったくなく、検診で偶然見つかるケースも増えています。

「血尿が一度出ただけだから」と放置しがちですが、血尿は早期発見のための重要なサイン。血尿があれば速やかに泌尿器科を受診しましょう。



診断の手順

診断の第一歩は尿検査で、血尿の有無を確認し

ます。続いて尿中の異常細胞を調べる尿細胞診を行い、超音波検査で膀胱内の腫瘍の有無を評価します。確定診断には膀胱鏡検査が不可欠で、内視鏡で腫瘍を直接観察します。CT検査では膀胱以外の広範囲を撮影し、リンパ節や肺・肝臓など他の臓器への転移の有無を確認します。

〈泌尿器科・内科〉

いい腎泌尿器科クリニック

☎023-616-3601 山形市桜田西4-17-49

●診療時間
午前/9時00分～12時30分
午後/14時30分～18時00分

●休診日
木曜午後・土曜午後・日曜・祝祭日

